

創薬の基盤となるペプチド科学研究の最前線

令和8年2月9日（月） 13:00～17:25

会場：東京薬科大学 1201講義室（参加費無料）

対象：本学の教職員・学生、学外の大学・研究機関に所属する学生および関係者

▶プログラム

12:30 開場

13:00–13:10 開会挨拶 林 良雄（研究推進機構長）



13:10–13:55 ペプチド医薬品の開発と中分子・低分子創薬
玉村 啓和先生（東京科学大学・副学長／教授）

13:55–14:40 酸化状態トランスファーが拓くペプチド化学の新地平
大高 章先生（徳島大学・教授
日本ペプチド学会会長／日本薬学会 化学系薬学部会長）



14:40–14:55 休憩

14:55–15:25 生体ペプチドを基盤とした分子創出と
in vivo 機能評価がもたらす新展開
高山 健太郎先生（京都薬科大学・准教授）



15:25–15:55 アミノ酸選択的化学修飾法の創出とペプチド化学への展開
田口 晃弘先生（東京薬科大学 薬品化学教室・講師）



15:55–16:25 抗体 Fc 結合ペプチドの構造誘導と創薬への応用
六車 共平先生（東京科学大学・助教）



16:25–16:35 休憩

16:35–17:20 （特別講演）ペプチドを用いた細胞内送達の化学・細胞生物学
二木 史朗先生（京都大学・特任教授／日本薬学会 副会頭）



17:20–17:25 閉会挨拶 冨塚 一磨（未来創薬研究所 所長）

※シンポジウム終了後、情報交換の場を予定しています。

お問い合わせ 東京薬科大学 教学IR研究推進課

TEL：042-676-5349（8:45～17:00 月～金、祝日除く）